

令和6年度市川三郷町第2次総合戦略

総合戦略検証委員会中間検証結果
(令和6年11月14開催)

令和6年度市川三郷町総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準	全 体 評 価 員	検証委員意見・評価等
継続	新規就農総合支援事業 (産業振興課 農林係) 【概要】 ・県関係部署及び町内の農業法人(アグリ甲斐、桑の郷)、JA山梨みらい等と十分連携し、新規就農者の確保を目指していく。 【数値目標】 ・新規就農者2名の確保 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・新規就農者3名の就農継続 【年度末までの活動内容や課題等】 ・3名の新規就農者に補助金を出し目標値を上回っているが、引き続き農業の担い手不足であることから就農者の確保に努める。	事業の進捗状況	A KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	A	○給付金の財源がゆるすのであれば、目標値を高くすすめてほしいです。農業は町の基盤の1つであり、なおかつ高齢化の問題もありますので、積極的にすすめてほしいです。 ○ウクライナ侵攻を契機とする食料価格高騰により、食料安全保障と食料自給率の論議がある中、安定的に保全な食料を確保することの重要性が言われており、こうした取組は地道にやっていく必要があると思います。補助金終了後においても定着できるように引き続き支援をして頂ければと思います。 ○(すでに、2年目、3年目の方が2人いるのなら)目標値が2人は少ないように思う。 ○今後も新規就農については受入体制を明確、分かり易い様にする事で、一人でも就農者を困えることが出来れば良いと思います。 ○耕作放棄地が今後も高齢化により増加するので県・国より補助金が出るのであれば事業継続拡大を望みます。
			B KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
			点数換算		
		今後の方向性	A 事業拡充(さらに発展させるべき)	A	○さらに新規就農者を増やして、地元への貢献を進めてもらいたい。休耕地等が減少し、農業技術等も発展することを期待する。高齢化対策につながる事業であってほしい。 ○就農者の呼び込みにも今後とも継続して頂きたい。農業の発展になってほしい。 ○当店取引先にも数年後には農業を廃業する予定の方が多数いる。耕作放棄地や見込地をデータベース化し、新規就農者に紹介する等農地の荒廃を防止する取組みも新規就農者確保には必要だと思う。今後、行革で閉鎖予定の町の所有施設等を農作業場として農家へ貸し出す等の施策を検討願いたい。
			B 事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C 事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D 事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和6年度市川三郷町総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準	全 体 評 価 委 員	検証委員意見・評価等
継続	観光施設等の整備・活用の推進事業 (産業振興課 観光係) 【概要】 ・観光施設の新たな活用方法やイベントを模索し、観光施設への入館者数の増大を目指す。 【数値目標】 ・観光施設の入館者数 279,800人 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・観光施設の入館者数 152,484人 評価: 努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・観光施設の入館者数は計画の54.5%で推移している。秋から冬にかけて歌舞伎文化公園ふるさと会館の展示替えPRなどで、来場者数を伸ばしていきたい。	事業の進捗状況	A KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	B	○みたまの湯から誘導を考えてほしいです。 パンフレットや案内などを駆使して、食べものやおみやげ、他の施設の利益につながるようにしてほしいです。 SNS等の発信をどうやって増やすかも考える必要があると思います。 ○施設の活用を図ろうと、ふるさと会館における甲冑等の展示など新たな取組を行い、努力を続ける中、施設の休止ありきでなく、どうしたら継続していけるかという視点で見直しを進めて頂きたい。 ○歌舞伎の会館の取り組みはとてもよいと思います。 国内外に周知していただくことを頑張ってください。 碑林公園はテコ入れが必要ではないか…。 ○みたまの湯のみが賜っている現状に感じますが、展示等の努力も伝わります。 ○みたまの湯の来場者を市川三郷町内へ周遊し、滞留するしくみづくりをお願いしたいと思います。
			B KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
			点数換算		
		今後の方向性	A 事業拡充(さらに発展させるべき)	A	○新規の取組・工夫を取り入れる中で事業の継続を期待する指定管理を含めて民間(※公社化もあり)に委託して運営することが望ましい。 周知等広報活動もお願いしたい。 ○初めての企画にて10月より開催して310人の入場者と聞いて、多いか少ないかわからないが、開催した効果はあると思う。 ○みたまの湯への入場者数が全体の数値を上げており、その他は低調、みたまの湯で集客した観光客等のその他施設利用へつなげる仕掛けが必要。 今後の方向性として検討し、取り組んだ結果として集客が見込めない場合は、今後の利用用途等検討すべきと考える。
			B 事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C 事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D 事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和6年度市川三郷町総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準	全 体 評 価 員	検証委員意見・評価等
継続	市川三郷町婚活支援事業 (政策推進課 政策推進係) 【概要】 ・婚活イベント峡南4町及び近隣の市町等と共催開催し、カップル成立を目指す。 【数値目標】 ・カップス成立件数 30組 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・13組 評価:努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・12月に5町合同イベントを1回行う予定。町内在住者を増やしていきたい。 現在、年間婚姻数自体が45件ほどであり、ターゲットとなる年齢層が減少傾向にあるため、目標の数値が妥当かを年度末及び来年度に検討する必要がある。	事業の進捗状況	A KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	B	○事業自体は良いと思いますが、定住に向けての取り組みや努力が必要だと思います。イベントで成立した夫婦にはプラスの補助金を出すなどのアイデアがあればと思います。 ○この事業によって市川三郷町に定住してもらえることが本質的な目標だと思いますので、そういった視点で方策を進めて頂けたらよいと思います。 ○対象高齢者減少で目標を下げないで欲しい、地域の人口減少をあきらめないで、ねばり強く取り組んで欲しい。 婚活イベントとすると参加のハードルが高くなってしまいうこともあるのかも…。サークルなどで知り合う機会が増え、意気投合することもあるのでいろいろな取り組みを頑張ってください。 ○主催者、主催地を市川三郷町であることは最後に分かる様にして、開催地は町内で無く、イベントを打つことに賛成です。最終的に市川三郷町であること、案内等が出来て欲しい。 ○将来結婚し、市川三郷町に定住してもらえるようにイベントでの町の魅力を発信してもらいたい。
			B KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		点数換算			
		今後の方向性	A 事業拡充(さらに発展させるべき)	A	○婚姻、定住に向けて入口の事業として推進は必要であると思う。 婚活イベントと共に、個々のライフプランを積極的に進めていくようなイベントもあっても良いのではないかと。(「幸せな結婚生活に向けて」と題して。) ○1回目が目標の30組のうち13組が成立したとのこと80%の成果があつてよかった。2回目もその数値になればと期待している。 ○目標達成率は43.3%と巡航速度に対し未達だが概ね良好と感じる。団塊ジュニア世代の未婚率は高く、結婚適齢期の未婚者だけでなくターゲットとなる世代を広げ年代別の実施する等の工夫により未婚者の減少に取り組んでほしい。
			B 事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C 事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D 事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和6年度市川三郷町総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準	全 体 評 価	検証委員意見・評価等
継続	<p>六郷IC周辺活性化事業 (政策推進課 政策推進係)</p> <p>【概要】 ・六郷IC周辺の工場跡地などへの企業誘致を目指す、参入予定企業と基本合意をかわす。</p> <p>【数値目標】 ・企業との基本合意 1社</p> <p>【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・企業との基本合意 0社 評価:実績なし</p> <p>【年度末までの活動内容や課題等】 ・10月に地権者・耕作者を対象に説明会開催予定。今後は、参入企業決定に向けてスピード感をもって進めるようにデベロッパーに働きかける。</p>	事業の進捗状況	A KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	C	<p>○整地は必要だと思います。もし企業にしてもらうのであれば、メリット(土地代が安いなど)を打ち出していかないと、整地されている方が選ばれるという状況は続いてしまうのではないかと思います。</p> <p>○他の市町村が、企業誘致に至った事例をみると、土地造成をして入居可能な状態にしている場合が多数と聞いています。町のHPの活用や企業訪問など戦略を立てて進めてほしいと思います。</p> <p>○まずは整地が必要ではないか。整地していたら、興味を持ってくれる企業はあると聞いています。企業も4・5年もかけてはられない。スピード感が必要ではないでしょうか。</p> <p>○今後、参入企業が増え、税収が増えるよう望みます。</p> <p>○地元の住民、地権者への丁寧な説明と参入企業への積極的な売り込みが必要である。受け入れる状況(土地造成など)が不十分である。参入しやすい環境(特例や広報)が必要である。</p>
			B KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
			点数換算		
		今後の方向性	A 事業拡充(さらに発展させるべき)	B	<p>○企業誘致に努力しているがなかなか成立が難しいということが説明でよくわかるが、なんとかして1社でもと思う。</p> <p>○町の発展、地域活性化のためには企業誘致が必要不可欠だと思います。六郷IC周辺地域活性化も大変重要性の高い事業だと思いますが、進出する企業のニーズに合致する要件が揃っていることが重要で、当該地ではそれを満たすことが難しいのではないかと感じています。開発する地域を再検討し進出企業のニーズを満たす事業計画の検討が必要。</p>
			B 事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C 事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D 事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和6年度市川三郷町総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準	全体 検証 評価 委員	検証委員意見・評価等
継続	町立図書館活用事業 (生涯学習課 町立図書館係) 【概要】 ・テーマ展示棟を積極的に行い貸出増に努める。図書・資料(地域資源等)積極的に収集・保存・活用し、住民の豊かな心を育むため読書活動を推進する。 【数値目標】 ・図書館資料の貸出冊数 78,000冊 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・図書館資料の貸出冊数 42,014冊 評価:努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・図書資料の貸出冊数は53.85%であり、特集やテーマ展示を行い順調である。今後も利用者の獲得に努力し、貸出冊数の増を目指したい。	事業の進捗状況	A KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	A	○学習室をテスト期間などは使えるようにしてほしい。テレビなどで紹介された話、時事問題等の関連書籍をスピーディーに展示するなど、借りる側の心が動くような仕掛け方でやってほしいと思います。 ○幅広い年齢層に活用して頂き、生涯教育につなげて行ってほしい。また、絶えず利用者の声に耳を傾けて必要に応じて見直して行ってほしい。 ○これからも分館も活用した利便性を維持すべき、地区ごとの図書館利用を拡充すべきではないか。また、図書館は貸出冊数がすべてではない、もしも分館を廃止するのであれば全国的にまちづくりの拠点としての利用が見直されている中、逆行していると思います。色々な立場の人に寄りそった図書館のあり方を考えて欲しいです。 ○イオンでのコラボ等、御協力が伝わります。本離れがすすんで居ますが、本の良さは絶対ですのでこれからも良い取り組みをお願いします。
			B KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		点数換算	A	○本を読みに行くのが前提ですが地域コミュニティーの場として町民に広く周知していただきたい。 ○図書館の機能を活かして、貸出増に努めてもらいたい。 ○移動図書館車の導入を(合併後)なるべく早く導入してもらいたい。書店と図書館のコラボを今後望む。(すぐではなくてよいが) ○図書館をより多くの住民に多数の読書をして欲しいとの目的を推察するが、多くの方という目的があるのであれば、KPIは、冊数だけでなく利用者数も取り入れる等も検討して欲しい。	
		今後の方向性			A 事業拡充(さらに発展させるべき)
					B 事業改善(内容を見直し取り組むべき)
					C 事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)
					D 事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)